

授業と評価の年間計画

教科	理数	科目	理数数学特論	
使用教科書(発行所)	改訂版 数学A (数研出版) 改訂版 数学B (数研出版)			
履修条件 対象生徒	必修 理数科 3年			
学習目標	整数の性質、ベクトル、場合の数と確率について理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、大学入試に対応できる能力を身に付ける。			
学習方法	1 教科書の内容 予習・復習を大切にし、理解が不十分である内容については必ず授業や質問等において確実に自分のものとする。			
	2 演習問題 入試問題が解けるようになるには、必ず自分で考える習慣をつけること。一つの問題を解くのに様々な分野の内容を関連づけて考える習慣をつけること。			
学習計画 と ねらい	1 1学期 (1) 数学A 整数の性質		<ul style="list-style-type: none"> 整数の約数、倍数に関する基礎的な事柄を扱い、それらを具体的な問題の解決に活用できるようにする。 最大公約数を求める方法としてユークリッドの互除法を理解させ、その有用性を認識する。 平面上のベクトル及び空間におけるベクトルの意味や演算、成分及び内積などの基本的な概念について理解させ、ベクトルを用いて図形の性質を考察させる。 空間座標の概念を導入し、その意味や表し方について理解させるとともに、内積や成分などの平面上のベクトルの考えを空間に拡張して空間ベクトルを理解する。 数え上げの原則や、順列・組合せ及びその総数の求め方について理解させるとともにそれらを具体的な場面に活用できるようにする。 身近な事象を基にして、不確定な事象の起こる程度を「数」を用いて表現することについての理解を深めるとともに、事象を数学的に考察する能力を養い、確率を活用する能力を伸ばす。 	
			ベクトル	
			場合の数と確率	
	(2) 大学入学共通テスト対策		<ul style="list-style-type: none"> 数学A・Bの知識と技能の定着を図る。 	
	2 2学期 (1) 数学A・B (2) 大学入学共通テスト対策		<ul style="list-style-type: none"> 2次試験対策として数学A・Bのいろいろな問題を解けるようにする。 マークシート方式の出題に慣れ、いろいろな分野の問題を解けるようにする。 	
	3 3学期 (1) 大学入学共通テスト対策 (2) 2次試験対策		<ul style="list-style-type: none"> 各分野のマークシート方式の問題を限られた時間の中で解くことができ、理解できるようにする。 高校数学の振り返りと融合問題の演習を行うことで、大学入試問題に対応できるようにする。 	
評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	学習する内容に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。
評価方法	定期考査、授業態度、課題・提出物を総合的に判断して評価する。			
その他	講座編成の授業を行う場合もある。			

